

# 平成30年度 第43回関東中学校軟式野球大会

江戸川区立上一色中学校(東京) 対 南アルプス市立櫛形中学校(山梨)



『館野好投2安打完封！上一色中決勝へ！！』

山日YBS球場	準決勝	開始時刻	14:26	終了時刻	15:59	試合時間	82分						
チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	特1	特2	特3	計
江戸川区立上一色中学校(東京)	0	1	0	1	0	0	0						2
南アルプス市立櫛形中学校(山梨)	0	0	0	0	0	0	0						0

【審判】 球審：原 直哉 一塁：岡田 龍亮 二塁：上田 長彦 三塁：小林 雄飛  
 【投手-捕手】 江戸川区立上一色中学校(東京) 投手-捕手：館野-富田  
 南アルプス市立櫛形中学校(山梨) 投手-捕手：吉田-野中  
 【長打】 二塁打：野中(櫛形) 館野(上一色)  
 三塁打：  
 本塁打：

＜試合経過＞準決勝。両者本日2試合目となる戦い。櫛形中ピッチャー吉田、上一色中ピッチャー館野の両投手が好投する試合となった。2回表、上一色中の攻撃。6番館野右中間への二塁打で出塁。続く7番安達が犠打を決め一死3塁。8番山口のセンターフライで3塁走者がタッチアップ。本塁へ還り上一色中が先制点を奪う。4回表、上一色中の攻撃。無死2塁とし、6番館野が犠打でしっかり送り、一死3塁。7番安達がショートゴロを打つも3塁走者がタッチアウト。その間に打者走者が2塁へ進塁。二死2塁から牽制悪送球の間に2塁走者安達が一気に本塁に還り1点追加。5回以降互いに粘り強い守りを見せ得点を許さない展開となる。7回裏、櫛形中三者凡退で試合終了。上一色中は安打3、櫛形中は安打2。バッテリーを中心によく守り、互いに譲らない好ゲームとなった。館野は櫛形打線を2安打に抑える好投。少ないチャンスをものにした上一色中学校が接戦を制し決勝進出を決める。(敬称略)

打順	守備	選手	打席	打数	安打	打点	三振	四死球	犠打	盗塁
1	5	石神 遙樹	3	3	0	0	0	0	0	0
2	9	深沢 鳳介	2	1	0	0	0	1	0	0
	H・7	市川 大地	1	1	0	0	0	0	0	0
3	8	岡田 翔馬	3	3	1	0	0	0	0	1
4	6	斎部 力翔	3	3	0	0	0	0	0	0
5	2	富田 倅丞	3	3	0	0	0	0	0	0
6	1	館野 智靖	3	2	2	0	0	0	1	1
7	4	安達 健太	3	1	0	0	0	0	2	0
8	3	山口 志温	3	2	0	1	0	0	1	0
9	7・9	渡辺 陽太	3	2	0	0	0	1	0	0
計			27	21	3	1	0	2	4	2

投手	回数	アウト	打者	球数	被安打	奪三振	四死球	失点
館野 智靖	7	21	23	84	2	4	2	0

打順	守備	選手	打席	打数	安打	打点	三振	四死球	犠打	盗塁
1	8	野田 裕作	3	3	0	0	2	0	0	0
2	7	小池 諒	3	3	1	0	0	0	0	0
3	2	野中 拓	3	3	1	0	0	0	0	0
4	3	近藤 甫句斗	3	2	0	0	1	1	0	0
5	5	土屋 建人	3	2	0	0	0	1	0	0
6	4	中込 登士	2	2	0	0	0	0	0	0
7	9	笹本 淳之助	2	2	0	0	0	0	0	0
8	6	村松 瑠希也	0	0	0	0	0	0	0	0
9	9	中島 慎吾	2	2	0	0	0	0	0	0
9	1	吉田 真澄	2	2	0	0	1	0	0	0
計			23	21	2	0	4	2	0	0

投手	回数	アウト	打者	球数	被安打	奪三振	四死球	失点
吉田 真澄	7	21	27	75	3	0	2	2



チームコメント

**上一色中 西尾監督**  
 準々、準決勝と連戦だったが、ピッチャーがよく投げ、完投してくれた。コーチもよく声をかけてくれて集中を切らすことなく戦えた。全中出場に満足せず、1つでも上を目指して全力で戦いたい。

**上一色中 石神主将**  
 連戦でとても大変だったが、みんなで声をかけて戦えた。決勝戦では、全国の弾みになるように、全力で自分たちらしい野球をして戦いたい。

**櫛形中 今津監督**  
 ピッチャーはよく粘ったが、集中力に欠けてしまった。残念な結果になってしまったが、全国大会までに鍛えなおして、この悔しさを広島でぶつけたい。

